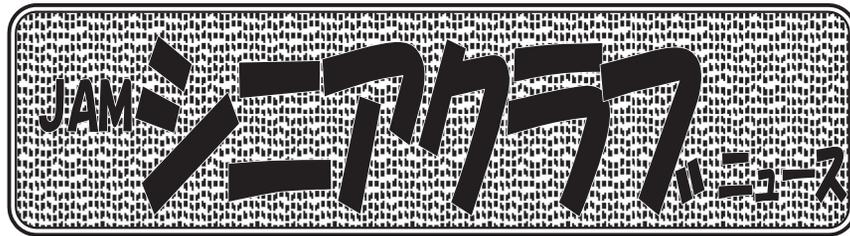


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第201号

発行日 2024年9月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

2025年度定期総会を開催 「郡山りよう必勝を誓い合う」

2025年度(第16回)JAMシニアクラブ定期総会を9月6日、東京・友愛会



館大会議室で開催しました。総会には、全国の地方シニアクラブから代議員31人、役員21人、JAM現役2人、ご来賓4名の58人が出席しました。午後1時30分開会。冒頭、昨年度中にご逝去された会員に対して参加者全員で黙とうを捧げました。木村副会長の開会の挨拶のあと、議長団に選出された長野の今井一敏さん、岐阜の井亦廣幸さんが登壇。最初にJAMシニアクラブ大山会長より次の5点にわたって挨拶

がありました。①現行健康保険証廃止反対の取組み。②社会保障制度の改善を許さない「税と社会保障」についてしっかりと議論。③年金が実質低下の中、基礎年金をマクロ経済スライドからはずすなど基礎年金の底上げが必要。④「核兵器を使わせない」取組みの強化。また、防衛力強化の動きに對しては、専守防衛、非核三原則、シビリアンコントロールの原則に基づき取組みを進める。⑤郡山りようの当選に向けた応援カードの取組み拡大。(詳細は、左の定期総会挨拶を参照)次に4名のご来賓よりご祝辞をいただきました。

JAM現役を代表して安河内賢弘会長から「24春闘は歴史的な成果を獲得した。しかし大手と中小の格差は広がった。25春闘は、政労使一体となつての賃上げは望めないかもしれないが、労働組合の団結力でしっかりと闘っていく。物価上昇の中で年金生活者の生活は厳しくなっている。そんな中で税収が改善しているにも関わらず、医療、介護、年金の改善が行われることに怒りを覚える。自民党政権では世の中は変わらない。政権交代が必要である。JAMは政権交代をめざして取組んでいく。郡山りよう、JAMの国会の議席を奪還

するために全国を駆け回っている。先輩たちの力でぜひ国会に送っていただきたい。」日本退職者連合を代表して大内孝子副事務局長からは「厚生労働省への要請行動で、介護報酬の引き下げを改善すること、マイナ保険証への一元化について、問題点の改善がおこなわれていない中で、現行健康保険証廃止について反対であることを主張した。ウクライナ、ガザ地区では多くの命が失われている。退職者連合として即時停戦、戦争NOの声をあげていく。解散総選挙では連合推薦候補の必勝に向け全力で取り組む。」

〈裏面へ続く〉

来年7月の参議院選挙でJAM組織内候補「郡山りよう」の必勝を今年度の最重要課題として取組みます。シニアクラブがJAM現役と連携し「郡山りよう」の必勝に全力をあげることは、シニアクラブの活動や会員拡大について現役の皆さんと改めて共有することにつながります。

「カネは力なり」にどっぶりとなつた自民党政治が続けば、裏金や「政治とカネ」の問題は棚上げにされます。また、社会保障では「子ども・子育て」支援を理由にして、負担増では「支援金」を

確保するとして筋の

違う健康保険の保険

料引き上げ(26年度

から段階的に引き上

げて28年度には1兆

円確保、歳出削減・

定期総会挨拶

会員の皆様のご協力を

JAMシニアクラブ会長 大山勝也

の引上げなどが検討課題にあがっています。

さらに25年度国家予算の概算要

求では防衛費8兆5千億円と防衛

装備費ローンの後年度負担額15兆

7千億円強が計上されています。

「子ども・子育て支援」を理由に

した高齢者へのしわ寄せは絶対に

許せません。8兆5千億円の防衛費は過剰であり、その装備は専守防衛を逸脱するものです。

解散・総選挙、参議院選挙で自民党政治を退陣させる取組みを強化し、今年度、次の取組みを進めます。

第1、マイナ保険証の強引な普及のために、現行の健康保険証の新規発行を今年の12月2日で停止することに對して、現行の健康保険証存続の取組みを続けます。

第2、少子化の要因の一つが高額な高等教育費の負担です。中央労協が呼びかけている「教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール」に賛同する団体署名、個人署名に取組みます。

第3、ウクライナ侵略を続けるロシアは核兵器の使用で威嚇を続けています。2025年3月には

核兵器禁止条約締結国会議、26年には核不拡散条約再検討会議が予定されています。今まで3回の核兵器廃絶の署名活動を行ってきました。現在、新たな署名活動が日本退職者連合などで検討されています。

第4、介護の訪問介護の基本報酬が引き下げられ、小・零細規模の介護事業所の倒産が増えていきます。介護を重点にして社会保障を後退させずに、充実する活動に取り組みます。

第5、地球温暖化は、地球環境を破壊する悪循環に入る寸前の状態と言えます。化石燃料から撤退し持続可能な再生可能エネルギーに早急に転換する声をあげ続けま

す。会員の皆様のご協力をお願いします。



大山勝也

〈表面より続く〉

基幹労連シニアクラブの操谷孝一事務局長からは「会員29000人いるが、すべてつながっているわけではない。組合役員経験者を核にして情報や課題を共有化しつなかりをつくっていききたい。議員をひとりつくることで、議員仲間や議員集団を動かすことが出来る。郡山りょうさんもそういった核になってもらいたい。基幹労連シニアクラブは全力で応援する。」

村田享子参議院議員からは、経済産業委員会の中で、組合員から要望のあった電気料金の特別高圧契約への補助金が実現できた事例が紹介され、「1人の議員がいることで組合員の声を国に届けることが出来る。野党でも政策が実現できる。私は経済産業の分野で皆さんの声を代弁し、厚生労働は郡山りょうさんをお願いしたい。皆さんの経験やネットワークを活かして、郡山りょうさんへのお力添えをお願いしたい。」とそれぞれ、力強い心温まる祝辞をいただきました。



る取組の強化について質問・意見があり、本部より保険証廃止反対の活動について退職者連合の考え方、取組みを報告。また平和問題については憲法改悪反対という原則で対応していくとの答弁があり、採決の結果、2025年度活動方針案は満場一致で承認されました。その後、第2号議案「2025年度予算案」、第3号議案「郡山りょう必勝に関する決議」についても全員賛成で承認されました。

ルの改善、安心安定の社会保障制度を確立するためには国庫負担を増やすことが必要。現場の声、先輩たちの声で「働くを変える」政策実現に向けて全力で取り組んでいきたい。JAMを支えてきた先輩の皆さんの協力をお願いする。」との決意表明を受け、参加者一同で万雷の激励の拍手を送りました。

活動報告では、JAM北海道シニアクラブが9月28日に結成される旨の報告があり、オプザーバー参加されていた北海道シニアクラブ役員予定者の山本隆信さんより、ご挨拶をいただきました。

活動報告、会計報告のあと議案審議に入りました。第1号議案「2025年度活動方針案」の審議では、健康保険証廃止反対の具体的な取組みや平和や憲法を守る

が開催されました。1999年9月9日JAM結成時の初代会長服部光朗さんと現会長の安河内賢弘さんの対談では、服部さんの単組、地方組織、産別本部の役員に至る経緯、JAM統一時の苦労話が紹介されたあと、現役リーダーへ向けて「気力、胆力、決断力」この三つの力を発揮していただきたいとのエールが送られました。

引き続いての、記念レセプションは、連合労野会長、立憲民主党泉代表、ドイツ金属労組のフラツハ氏などのご来賓をはじめ、JAM歴代の役員や大会参加者（台風10号の影響で一部不参加）など700名が集い盛大に開催されました。JAMシニアクラブも三役全員が出席しました。



主権者を代表し人見一夫退職者連合会長より「二つの戦争を終わらせる。核兵器の使用はあってはならない。政府に核兵器禁止条約を速やかに批准することを求める。」「自公の軍拡路線に反対する。社会保障費の削減により防衛費を増額することは認められない。」「単身高齢者世帯が増加している。必要なサービスが受けられる行政の対応やサポート事業の改善が求められる。年金、医療、介護、子育てなど社会保障制度の維持発展、機能強化に取組んでいく」などの挨拶がありました。

来賓の連合本部、立憲民主党、国民民主党、社会民主党からの挨拶、野田事務局長の基調報告がありました。そのあと、朝日新聞編集委員の高橋純子さんよりテーマ「どうする・どうなる」これからのメディア」の講演があり新聞、テレビ、SNS等、現政権に対しての現状を語っていただきました。次に、「高校生平和大使のとりくみについて」3人の神奈川県の高校生から特別報告がありました。高校生平和大使は国連などを訪問し、核兵器廃絶や軍縮を訴える活動を27年間継続しておりノーベル平和賞候補にもなっています。第27代平和大使の萩有彩さんから、本年8月のスイスの国連軍縮本部の詳細な報告があり、若い世代が平和、軍縮、核廃絶に継続的に取組んでいく姿に胸を打たれました。

郡山りょう logo and text: 郡山りょう 3つの政策 「ものづくり」「中小」を基盤としたくにつくり 公正で安心できる 価値を認めあう社会 働く者の尊厳を守る ワークルール



JAM結成25周年記念対談、記念レセプションを開催 8月29〜30日に開催されたJAM定期大会終了後に、JAM結成25周年を記念して記念対談と記念レセプション

全国高齢者集会を開催 高校生平和大使の活動に万雷の拍手 9月5日、日本退職者連合主催の「2024全国高齢者集会」が東京都・文京シビックホールで全国から1300人の参加者を集めて開催されました。